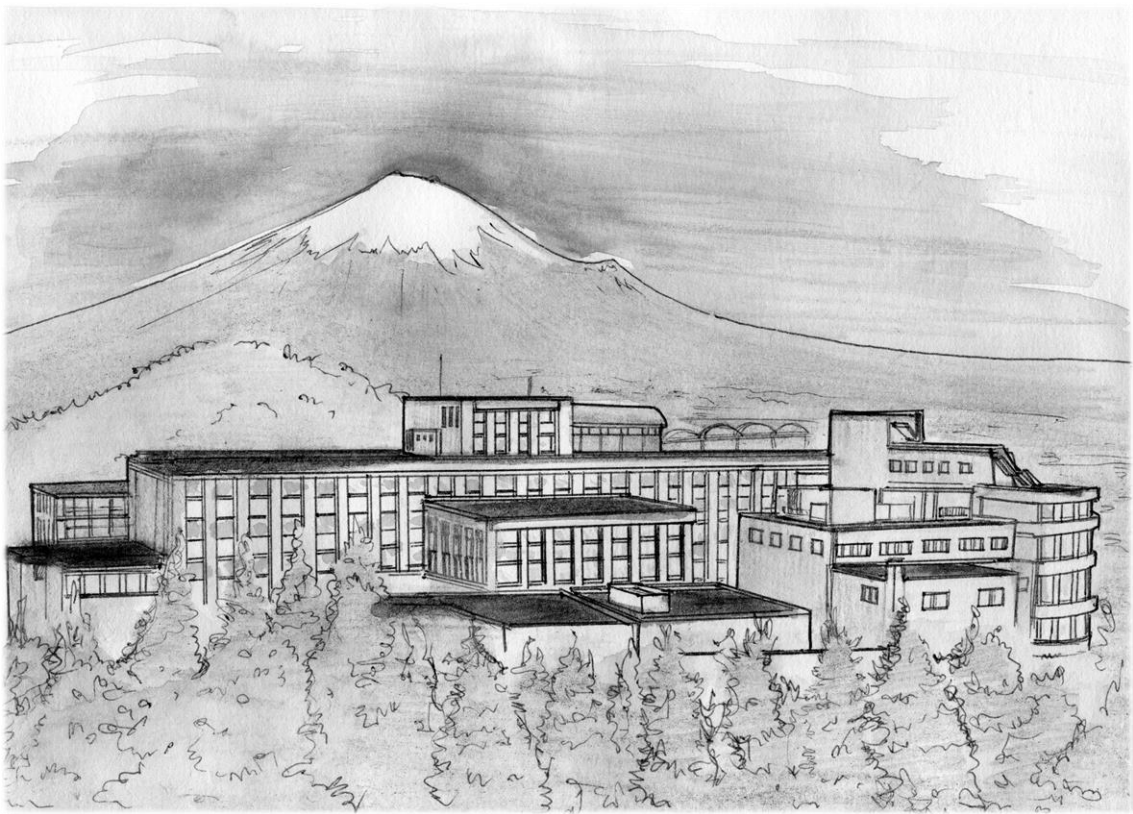


令和元年度

共立蒲原総合病院年報



共立蒲原総合病院の理念

1. 地域中核病院として、地域住民のニーズに対応した適正な医療を提供する。
2. 患者中心の全人的医療を提供する。
3. 健全な収支の確立に努める。
4. 職員が働き甲斐・誇りをもてる職場を構築し、医療水準の向上に努める。

共立蒲原総合病院の方針

1. 病院中期経営計画の目標を達成する。
2. チーム医療を促進する。
3. 経営資源を適切に活用する。
4. 倫理観を持って行動する。

令和元年5月1日をもって、平成から令和に年号が変わりました。簡単に平成の時代を振り返ってみたいと思います。

平成の時代には、診療報酬のマイナス改定・新臨床研修医制度・DPC・医療事故調査制度・地域医療構想・新専門医制度・働き方改革等々、いろいろな改革や新しい医療制度の導入がありました。特に、小泉内閣の時代以降、医療行政に大きな変革の波がやってきた感が強いのではないかと思います。医療界に大きな影響を与えた社会現象として、人口減少・少子高齢化・地球温暖化があげられ、令和の時代には、これらはますます影響大となりそうです。診断、治療の格段の進歩や医療費が40兆円を超え増え続けていることも医療のあり方を変えてきたように思います。当院においては、平成の時代の後半から、医師不足となり苦悩し、病床規模を縮小せざるをえませんでした。

令和元年度にも色々なことがありました。10月に台風15号、19号が関東甲信越から東北地方にかけて猛威を振り、川は氾濫し堤防を越え、大きな風水害を引き起こしました。ここ数年は、猛暑、水害が続き、地球温暖化の魔の手が忍び寄っていることが実感されます。10月1日から消費税が8%から10%へとさらに引き上げられました。次年度には診療報酬が改定される予定で、2年ごとの恒例であることを承知しているものの、前回で改定された診療報酬の決まりにやっと慣れたところでの改定で、次年度はどのように改定されるのか、やはり気を病む年末でした。

当院にとっては青天の霹靂であったことがありました。9月26日午後、厚労省は公立・公的病院の25%を超える424病院について、「再編統合についてとくに議論が必要」とする分析結果を発表し、その対象となる病院名を公表しました。9月末までに公表があることを知っていましたが、静岡県では14病院の名前が公表され、その中に当院も含まれていました。当院への事前連絡が発表当日の午前であったということもあり、私にとっては驚愕の極みでした。厚労省が独自の基準を設けて判断し、公表をしたことに対して、大きな異論を抱かざるをえませんでした。この地域における当院の特性として、構成市が三市からなる歴史的、地理的な背景があり、つい最近までに当院の病院機能のこの圏域における役割分担をすでに行ってきたことなどが全く評価されなかったことです。今後の地域医療構想調整会議の場で、当院の考え方を言明し、ご賛同をえたいと考えています。

12月に中国湖北省の都市武漢から始まった新型コロナウイルス感染症の流行が、全世界に拡大し、日本全体を震撼させる事態となりました。三密を避けるために不要不急の外出を控える要請が出され、院内外の多くの会議や各種の学会などが相次いで中止となりました。今後も予断を許さない事態となっています。

当院の常勤医師に関する人事では、脳神経外科、神経内科のそれぞれ1名が採用となり、定年退職を含む2名が退職となり、常勤医師数の増減はありませんでした。事業収支では、3億6,156万円余の赤字でしたが、2年連続の赤字削減となっています。事業収益は増収となりましたが、事業費用は人件費と材料費の伸びで増となり、さらなる赤字削減に心がけていく必要があります。

社会情勢や医療情勢が不安定な中、さらには今後地域医療構想が実行されていくことをふまえますと、当院が地域にとって絶対的に必要な病院であり続けること、新型コロナの問題も含めて災害に強い病院であること、健全な運営を目指してやっていくこと、などが目標となります。今後も、職員一同一丸となって、鋭意努力していく所存です。

目次

共立蒲原総合病院の理念

共立蒲原総合病院の方針

第9号の発行にあたって（院長）

| | | |
|----------------|----------------------|----|
| I 概要・沿革 | 3 損益計算書 | 26 |
| 1 概要 | 4 貸借対照表 | 28 |
| 2 沿革 | | |
| II 現況 | IV 診療統計 | |
| 1 組織図 | 1 入院 | |
| 2 職員数 | (1) 入院総括 | 30 |
| 3 正規職員平均年齢 | (2) 診療科別入院患者延数 | 30 |
| 4 建物案内・平面図 | (3) 病棟別入院患者の状況 | 31 |
| (1) 建物案内 | (4) 診療科別・年齢別入院患者延数 | 33 |
| (2) 平面図 | (5) 地区別・診療科別入院患者延数 | 34 |
| 5 施設概要 | (6) 地区別入院患者延数推移（5年間） | 34 |
| 6 設備概要 | (7) 地区別入院患者割合推移（5年間） | 34 |
| 7 主な医療機器 | 2 外来 | |
| (1) 病院 | (1) 外来総括 | 35 |
| (2) 健康診断センター | (2) 診療科別外来患者延数 | 35 |
| 8 病床数 | (3) 診療科別・年齢別外来患者延数 | 36 |
| 9 診療科目 | (4) 地区別・診療科別外来患者延数 | 37 |
| 10 診療受付時間 | (5) 地区別外来患者延数推移（5年間） | 37 |
| 11 診療サービス区分 | (6) 地区別外来患者割合推移（5年間） | 37 |
| 12 施設指定等 | 3 救急医療 | |
| 13 各学会認定（指定）施設 | (1) 診療科別患者延数 | 38 |
| 14 病院開設許可等 | (2) 診療科別・月別患者延数 | 39 |
| 15 施設基準 | (3) 地区別・月別患者延数 | 40 |
| (1) 基本診療料 | 4 手術 | |
| (2) 特掲診療料 | (1) 診療科別・年度別手術件数 | 41 |
| 16 病院組合議会 | (2) 診療科別・月別手術件数 | 41 |
| 17 院内会議及び委員会 | (3) 診療科別・月別麻酔件数 | 42 |
| 18 病院情報システム | (4) 診療科別・内容別手術件数 | |
| | ① 内科 | 43 |
| | ② 外科 | 43 |
| | ③ 整形外科 | 44 |
| | ④ 脳神経外科 | 44 |
| | ⑤ 泌尿器科 | 45 |
| | ⑥ 眼科 | 45 |
| | ⑦ 内視鏡センター | 46 |
| III 経営 | 5 人工透析センター | 47 |
| 1 業務概況 | | |
| (1) 業務の状況 | | |
| (2) 事業収支について | | |
| (3) 資本的収支について | | |
| 2 業務実績 | | |

目次

| | | |
|-------------------------|-------------------------|-----|
| 6 死亡件数 | (3) 死亡統計 | 65 |
| (1) 診療科別死亡件数 | (4) 医療情報の開示 | 65 |
| (2) 死亡及び剖検件数 | 15 地域医療支援室 | |
| 7 薬局 | (1) 診療科別紹介患者延数 | 66 |
| (1) 処方箋枚数、錠数、疑義照会件数 | (2) 紹介率・逆紹介率 | 66 |
| (2) 服薬指導 | (3) 医療相談 | 67 |
| (3) 院内製剤 | 16 医療安全への取り組み | 70 |
| 8 検査科 | 17 感染防止への取り組み | 74 |
| 9 放射線科 | | |
| (1) 年度別検査件数 | V 看護部 | |
| (2) 医療機器共同利用件数 | 看護部理念 | 77 |
| (3) 健康診断センターにおける年度別検査件数 | 2019年度看護部方針 | 77 |
| 10 リハビリテーション科 | 2019年度看護部目標 | 77 |
| (1) リハビリ処方箋件数 | 1 各部署の年間目標に対する評価 | |
| (2) 診断名別リハビリ処方患者実数 | (1) 看護部 | 77 |
| (3) 年度別リハビリ件数 | (2) 外来 | 82 |
| 11 栄養管理科 | (3) 東2病棟 | 84 |
| (1) 栄養指導件数 | (4) 西2病棟 | 85 |
| (2) 給食数 | (5) 東3病棟 | 86 |
| (3) N S T 報告 | (6) 西3病棟 | 87 |
| 12 訪問看護ステーション | (7) 本4病棟 | 88 |
| (1) 訪問対象者 | (8) 新3病棟 | 89 |
| (2) 年齢別訪問対象者 | (9) 人工透析センター | 91 |
| (3) 医療機関別訪問対象者 | (10) 手術室 | 92 |
| (4) 訪問看護対象者の状況 | (11) 訪問看護ステーション | 93 |
| (5) 訪問利用者延数 | (12) 健康診断センター | 94 |
| (6) 地区別利用者延数推移(5年間) | 2 看護部教育院外研修 | 95 |
| (7) 地区別利用者割合推移(5年間) | 3 院内看護研究会 | 97 |
| (8) 訪問対象者の主な疾患 | 4 認定看護師・実践看護師の活動報告 | |
| (9) 訪問看護の内容 | (1) 感染制御実践看護師 | 98 |
| (10) 対象者が受けている医療内容 | (2) がん化学療法看護認定看護師 | 100 |
| 13 健康診断センター | (3) 透析看護認定看護師 | 101 |
| (1) 年度別受診者実数 | (4) 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 | 102 |
| (2) 項目別悪性所見発見者数 | (5) 認知症看護認定看護師 | 103 |
| 14 診療録管理室 | (6) 緩和ケア認定看護師 | 104 |
| (1) 疾病統計 | VI 研究 | |
| ① 疾病別・診療科別入院患者実数 | 1 医局 | |
| ② 疾病別・年齢別入院患者実数 | (1) 学会・研修会等出席者数 | 105 |
| ③ 診療科別・疾病頻度順入院患者状況 | (2) 学会及び研究会報告 | 105 |
| (2) 手術統計 | | |

目 次

| | |
|-------------------|-----|
| (3) 対外活動 | 105 |
| 2 診療技術部 | |
| (1) 学会・研修会等出席者数 | 107 |
| (2) 著書・刊行論文 | 107 |
| (3) 学会及び研究会報告 | 107 |
| (4) 対外活動 | 107 |
| 3 看護部 | |
| (1) 学会・研修会等出席者数 | 110 |
| (2) 学会及び研究会報告 | 110 |
| | |
| VII その他 | |
| 1 年間行事 | 111 |
| 2 令和元年度蒲原病院健康フェスタ | 117 |
| 3 市民公開講座 | 118 |
| 4 蒲原病院だより | 118 |